

街並みテクテク No. 11：武蔵小山駅～目黒駅（2024-2-18）

参加者：碓貴臣、岸敦夫・美智代（夫妻）、染谷ミドリ、黛政男、三木和幸、山岸任、木村芳一（敬称略；計8名）

行程：武蔵小山駅～目黒駅 約8km

武蔵小山駅→林試の森公園→目黒不動尊→雅叙園→国立自然教育園→東京都庭園美術館→八芳園→目黒駅

・昔、目蒲線で通学していたころ、沿線の街の様子が電車から眺められ、武蔵小山駅近くには多くの商店があって、庶民的な町であると思っていたのですが、今では駅周辺に圧倒されるような高層ビルが建ち、あまりにもその景観が変化していることに驚きました。今回は木々の多い、大きな公園を中心に、比較的上り下りの多いコースを歩きました。

・林試の森公園は旧林野庁林業試験場であったものが都立公園として整備されたもので、珍しい木が多数植えられていました。丁度河津桜が見ごろで、多くの人が楽しんでいました。

・目黒不動尊は江戸五色（目白、目黒、目赤、目青、目黄）不動の一つで、808年に慈覚大師によって開かれた、関東最古の不動霊場です。

・桜並木で有名な目黒川を、現在では平らである太鼓橋で渡ると、目黒雅叙園から行人坂を上ることになるのですが、この辺りは安藤広重の名所江戸百景に、大変風流な場所として描かれています。

・国立自然教育園は国立科学博物館の附属施設であり、広大な敷地（約20万m²）内にスタジイ、また江戸時代松平讃岐守の下屋敷の面影を伝える“物語の松”などの大木が数多く茂り、気持ちの良い散策コースでした。

・樹齢500年以上の見事な盆栽が多く展示されている八芳園庭園を見学し、その後、目黒駅近くの居酒屋で懇親会を行い、快適な疲労感を癒しました。

（木村芳一）



武蔵小山駅前にて



林試の森公園の河津桜



目黒不動尊本堂



独鈷の滝と水かけ不動尊



雅叙園横の太鼓橋



名所江戸百景の太鼓橋



国立自然教育園内の松とスダジイ



樹齢500年以上の盆栽が展示されている八芳園庭園